JTB旅ホ連
7支部連合会

旅ホ連設立70周年の抱負
2026年度の事業方針

ＪＴＢ協定旅館ホテル連盟（ＪＴＢ旅ホ連）は、日本交通公社協定旅館連盟として1956年６月に設立されてから、今年で70周年を迎える。節目の年となる2026年度通常総会を前に、７支部連合会の会長に、70周年の決意や抱負、2026年度の事業方針や地域のトピックス、会員施設・地域・ＪＴＢへの期待などについてコメントをいただいた。

北海道 支部連合会

会長　唐神昌子（旅亭花ゆら）

唐神会長と北海道観光PRキャラクター

変化を恐れず、新たな価値を創り出す

本年、設立70周年を迎えたＪＴＢ旅ホ連。北海道支部連合会の会長として、この大きな節目に立ち会えたこと、大変光栄であり、また誇りに思う。会員施設の皆さまとＪＴＢが長年にわたり地域に寄り添い、ともに観光を支え、紡いできた時間の重みを、いま改めて深く感じている。また、広大で多彩な表情をもつ北海道においては、各地域が自らの個性と強みを慈しみながら連携を重ねたことが、今日の北海道観光の礎を築いてきた原動力になっているとも感じている。

そのような中、インバウンド需要の回復とともに、旅行者の価値観や行動様式、そして流通構造は大きな転換点を迎えている。北海道観光もまた、これまでの延長線ではなく、新たな視座としなやかな発想が問われる局面にある。

私は、昨年6月に北海道観光機構会長に就任し、北海道観光の変化はもちろん、可能性の大きさについて日々実感し、新たな価値をまだまだ創出できる力があると確信している。この可能性と力を最大化するため、北海道支部連合会の会員の皆さまと共に北海道観光を前に進めていく。

こうした思いのもと、2026年度は「変化を恐れず、新たな価値を創り出すこと」を活動の軸に据える。海外プロモーションによる認知向上と需要創出、教育旅行やＭＩＣＥの誘致、国内宿泊需要の着実な底上げなど、会員施設の皆さまの実利に結びつく取り組みを、ひとつひとつ丁寧に積み重ねていく。

また、各支部が主体的に育んできた宿泊増売活動を尊重し、横のつながりを深めることで北海道全体の観光価値をさらに高めていきたい。あわせて、ピンクリボン活動をはじめ、誰もが安心して旅を楽しめる環境づくりにも心を配り、地域と社会から信頼される観光の姿を、皆さまとともに描いていく。

東北 支部連合会

会長　山尾直嗣（ホテルニュー水戸屋）

「日本の旬　東北」をPRする山尾会長

知恵を持ち寄り、連携を深める

ＪＴＢ協定旅館ホテル連盟が設立70周年を迎えたことは、観光産業の発展に寄与してきた長年の取り組みの成果であり、ＪＴＢと会員施設が築いてきた歴史の重みを示すものである。時代の変化が加速する中にあっても、ＪＴＢ旅ホ連は地域観光の価値向上と観光産業の安定的発展に寄与し続けてきた。この蓄積を基盤に、今後も観光需要の創造と地域経済の活性化に向けた取り組みをさらに深化させていく必要があると考える。

2026年度上期には「日本の旬　東北」が展開されている。「めぐる、つながる、東北六彩の旅。」をコンセプトに掲げ、東北6県の広域周遊を促進する絶好の機会である。当支部連合会としても、四季折々の自然や伝統行事、温泉、食文化といった多彩な魅力を組み合わせ、東北6県の魅力を高める取り組みを進めている。あわせて、ＪＴＢの販売チャネルを活用し国内外からの誘客拡大を図ることで、東北全体の観光活性化に貢献していく方針である。

また、サステナブルツーリズムの推進は今後の観光地経営に欠かせない視点である。環境負荷の低減、文化資源の保全、地域社会との共生など、これまで以上にサステナビリティを重視し観光が地域にもたらす価値を長期的に高めていく取り組みが求められている。地元事業者とのコラボレーションや、地域文化の継承を支える仕組みづくりにも力を入れ、持続可能な観光の実現に向けた基盤を整えていく考えである。

観光を取り巻く環境が大きく変動する中、ＪＴＢ、会員施設、地域関係者が知恵を持ち寄り、連携を深めることが、観光の未来を切り拓く鍵である。当支部連合会は、ＪＴＢ旅ホ連70年の歩みを継承しつつ、新たな価値創造に挑む姿勢を共有し、地域と観光産業の持続的な発展に寄与していく決意である。

関東 支部連合会

会長　川野健治郎（全館源泉掛け流しの宿　西山温泉慶雲館）

館の玄関にて川野会長

地域・会員・ＪＴＢそれぞれの強み生かす

ＪＴＢ旅ホ連は、本年度、設立70周年という大きな節目を迎える。昨年度、岡田前会長の後を受け、関東支部連合会長を拝命してから早1年が経過した。この間にも、猛暑の到来や全国各地でのクマの出没、中東地域での戦闘の長期化など、観光業界を取り巻く環境は著しく変化し、予測困難な事態が次々と発生している。そのような時代にあっても、宿泊施設とＪＴＢが相互に信頼関係を築きながら、日本の観光産業の発展を支えてきた歩みは、大変意義深いものである。社会環境や旅行スタイルが大きく変化する中にあっても、地域観光の発展と宿泊産業の価値向上に向け、共に挑戦を続けてきた歴史そのものが、旅ホ連の財産である。

関東支部連合会においては、2026年度も「商販・未来委員会」「インバウンド委員会」「人財・組織強化委員会」の3委員会を軸に、会員施設の課題解決と宿泊増売につながる実践的な活動を推進していく。特にインバウンド委員会で取り組む「発酵文化」をテーマとした地域資源活用は、地域の魅力向上と新たな観光価値創出につなげていきたい。また、商販・未来委員会ではＪＴＢとの戦略的パートナーシップをさらに深化させ、店頭・法人・Ｗｅｂなどオールチャネルを通じた宿泊販売強化にも取り組んでいく。

人手不足や物価高騰など、宿泊業界を取り巻く環境は依然として厳しい。一方で、観光需要は着実に回復しており、地域観光への期待はますます高まっている。こうした時代だからこそ、地域・会員施設・ＪＴＢが一層連携し、それぞれの強みを生かして「選ばれる地域・選ばれる宿」を共に創り上げていくことが重要である。関東支部連合会としても、会員相互のつながりを大切にしながら、観光産業のさらなる発展に貢献するとともに、次世代へ地域に根差した観光の魅力をつないでいきたい。

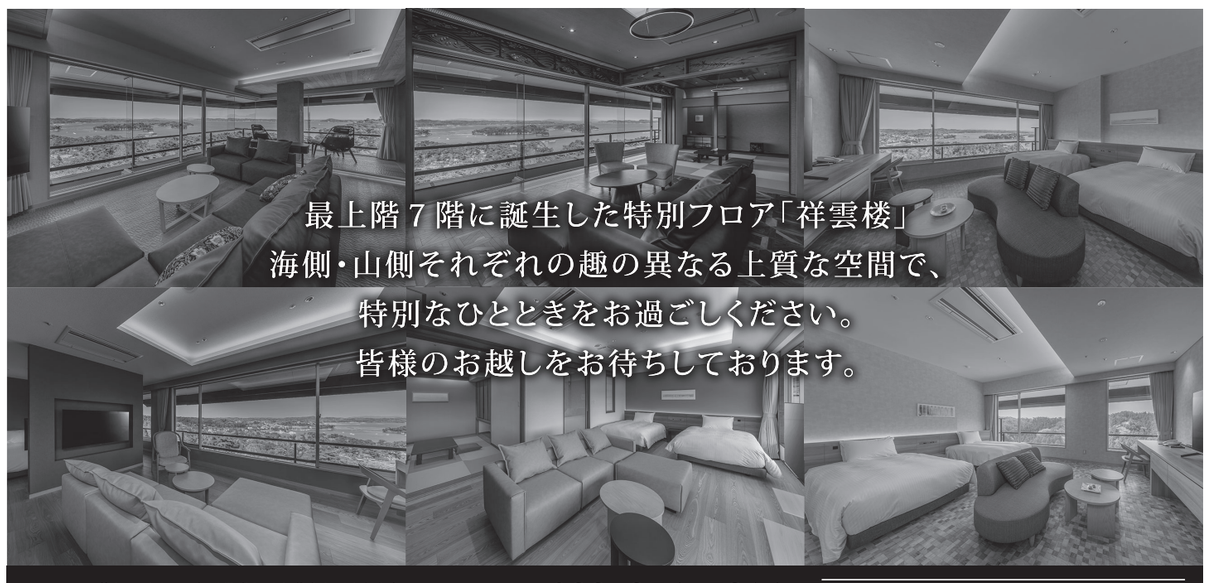
洲本温泉 うるおいの湯
淡路インターナショナルホテル ザ・サンプラザ
〒656-0023
兵庫県洲本市小路谷1279-13
TEL 0799-23-1212
URL https://www.the-sunplaza.co.jp
E-mail info@the-sunplaza.co.jp

ヒューリックホテルマネジメント株式会社

THE GATE HOTEL　VIEW HOTELS

郷土力を磨き、100年ブランドへ
鶴雅グループは北海道に個性豊かな16の温泉旅館・ホテルとレストラン・ベーカリーを展開しております。

鶴雅 HOKKAIDO RESORT TSURUGA
しこつ湖 鶴雅別荘 湖白の抄
8月10日　グランドオープン
https://www.kohakunosho.com/



美しいパノラマをご用意してお待ちしております。
ホテル松島大観荘
［予約センター］022-354-5214
〒981-0213　宮城県宮城郡松島町松島字犬田10-76
https://www.taikanso.co.jp
E-mail yoyaku@taikanso.co.jp